
口頭発表

[D] 病理学・微生物的防除

2024年3月29日(金) 17:00 ~ 17:45 D会場 (白檜2)

17:00 ~ 17:15

[D-24] 東京都八王子市内の小河川における昆虫疫病菌類の発生消長

○佐藤 大樹¹ (1. 森林総合研究所)

1988年6月下旬から12月にかけて東京都八王子市南浅川町の案内川の支流とその周囲の植物上において疫病菌類の発生調査を行った。調査開始時にはすでに流行病が認められ、9月に一度死体は見られなくなったが、10-11月には死体が再度確認された後、12月に終息した。ユスリカ類より *Entomophthora culicis*, *Erynia conica*, *Conidiobolus* sp. 1 (孢子大), sp. 2 (孢子小) を、ガガンボの仲間より *Entomophaga* sp. を記録した。特に、*Erynia conica* は全ての月で観察されたことより宿主範囲が広いものと考えられた。一方、*Entomophthora culicis* は7月に1回 *Chironomus* sp. からのみ採集された。2種類の *Conidiobolus* は10月以降に発生し、*Entomophaga* sp. は10月下旬に一度採集された。継続的な調査により、同じ場所で時期を変えて多くの疫病菌種が流行病を起こしていることが判明した。